



NHO沼田病院だより

National Hospital Organization Numata National Hospital



雪の沼田公園

理 念

- 基本理念** 心のもった質の高い医療を行う病院
- 基本方針**
- 1 患者さんを中心にチーム医療で臨みます。
 - 2 患者さんの心に通うサービスに努めます。
 - 3 患者さんに信頼される健全経営を目指します。

行 動 姿 勢

- 1 **現場主義**—現場に戻ろう！
 - 2 **実績主義**—隠れた実績を大切にしよう！
 - 3 **患者中心主義**—患者の立場で考えよう！
 - 4 **チーム医療**—お互いに助け合おう！
- 自分の意見をはっきり言おう！
相手の意見をしっかりと聞こう！

行 動 指 針

政策医療と地域医療の実践

年頭の御挨拶

独立行政法人国立病院機構沼田病院
院長 前村 道生



新年明けましておめでとうございます。

一昨年に完成した新病棟での業務は徐々に軌道に乗り、職員も新しい環境に慣れてきました。昨年4月にはオーダーリングシステムも更新され、沼田病院のハード面は一昔前とはかなり見違えるものとなっております。一方沼田利根地域の医療に関する状況もどんどん変化しております。来る10年間で1割以上の人口減少が想定されており、反面現在約3分の1を占める高齢者の割合は10年後には4割近くに達すると考えられています。この傾向は全国的な現象ですが沼田地域では顕著であり、こうした変化を踏まえた上での医療体制を検討する必要があります。人口減少に伴い急性期の患者さんが減少する一方、慢性疾患で通院されている体調を崩された高齢の患者さんの入院は増加すると思われます。こうした高齢の患者さんの受け皿として、当院は一昨年より回復期患者さんを受け入れる地域包括ケア病棟を開設しました。当院での急性期治療が一段落したものの色々の事情で直接自宅に戻れない患者さんは、これまでいったん他の医療施設などを経由して在宅に復帰することが多かったと思いますが、この地域包括ケア病棟を活用することにより院内で完結する医療を提供できるようになりました。受け入れにはまだまだ余裕がありますので、地域のより多くの回復期患者さんに活用いただきたいと思います。急性期と回復期の病棟を併せ持つことで、来るべき高齢化社会にふさわしい医療を提供してゆきたいと思います。

今年はチーム医療にも磨きをかけたいと思っております。そこでの要となるのは特別な教育を受けた認定看護師たちです。当院には緩和ケアや感染症の専門教育を受けた認定看護師がおり、今年は認知症やがん化学療法の分野の認定看護師も誕生する予定です。更に医師に準じた特定行為を実施できるように特殊な訓練を受けた診療看護師もおり、こうした専門知識を持ち経験を積んだ看護師たちが、色々な場面でチーム医療の中心となって、定期的なミーティングの場などを設けて活動しております。また規模の小さな病院ならではの医師同士の良好なコミュニケーションを活用し、科の垣根を取り払って互いの専門性を生かした連携も円滑に行われております。担当医だけではなく、複数の医師をはじめ看護師などの多職種が連携してこそ、真に患者さんのためになる、心に響く医療を提供できると確信しております。成熟には多少時間がかかりますが、地域の皆さんのために日頃からこつこつとチーム医療の土台を築いてゆきたいと考えております。

今年一年が当院にとっても皆様にとっても良い年でありますよう、心より祈念申し上げます。少しでも地域の皆様のお役に立ちたいと考えておりますので、皆様から忌憚のないご意見を伺えれば幸いです。今年も宜しくお願い申し上げます。

診療科紹介（循環器科）

内科医長 林 学

循環器科は現在、飯塚と私、林の2名体制で診療にあたっています。総合内科と併任で、多種の内科疾患も扱いつつ、循環器科としては主として心臓に関する疾患を担当しています。心臓には大きくわけて3つの疾患群があります。



生理検査室にて

①心臓を養う血管“冠動脈”に関する病気

狭心症や心筋梗塞といわれます。血管が完全につまってしまうとその範囲の心筋が壊死してしまいますが、これが心筋梗塞です。血管が狭い状態では運動したとき、あるいは血管に痙攣が加わった時に血液が不足し症状が現れますがこれが狭心症です。症状としては胸部の圧迫感、締め付け感、痛み、息切れといった形であらわれますが当院では運動負荷心電図、心筋シンチグラム、心臓カテーテル検査といった検査を組み合わせで診断治療を行っています。

②「心不全」という必要な血液を心臓から十分に送り出せない状態、心臓のポンプ機能の異常

先に挙げた心筋梗塞によっておきることもありますし、心臓の筋肉そのものの変性・異常による心筋症、心臓内部の4つの部屋の出入り口=弁の異常である弁膜症、肺病変にともなう肺性心などがあげられます。主として心臓超音波検査による評価を行い、必要に応じてシンチグラム、MRI、カテーテルなどにより評価・原因検索を行っています。

③脈の乱れを意味する不整脈

よく耳にする言葉だと思いますが、有害性のないものから心臓がとまってしまう致死的な不整脈“心室頻拍・心室細動”、あるいは命にはかかわらないものの心臓の機能低下や脳梗塞の原因となる“心房細動”など様々な疾患があります。通常的心電図、24時間記録するホルター心電図などで評価しますが、出現することが少ない発作性のものに関しては症状のあるときのみ自分で記録する携帯心電図の貸し出しをしています。ちょうど携帯ゲーム機くらいの大きさですが、これによって不整脈の正体が判明した方もいます。

これら、3つのグループの疾患がそれぞれ影響しあい合併することにより、そのひと毎の病像を作り出していますので上記の検査を組み合わせながら治療を考えています。

私は平成17年に当院に赴任し本年で14年目にはいるところですが、この間にもさまざまな医療進歩がおきています。“心房細動”をカテーテルで焼いて治してしまうアブレーションはかなり一般化されましたし、年齢や全身状態で手術ができなかった大動脈弁狭窄という弁膜症がカテーテルでも治療できるようになり、また詰まった血管を治療するときにレーザーも利用されるようになってきました。こうした特殊な治療は三次医療施設へ紹介させていただいておりますが、患者さん一人ひとりについて当院で行う治療、適切な施設を紹介して行う治療をよく吟味して提示しております。当地域の方が日本の標準的な適切な治療を受けられるよう当院を利用していただければ幸いです。

職場紹介（薬剤科）

薬剤師 小林 亮太

薬剤科は薬剤師6名、薬剤助手1名の計7名で業務を行っております。

主な業務は病棟や各部署における定数薬などの管理、入院患者への調剤および服薬指導、入院患者の持参薬の確認、時間外救急外来の調剤、入院および外来の患者に対する抗悪性腫瘍薬の混注業務などです。

また、病棟スタッフと連携を行い、各医療スタッフからの薬剤に関する問い合わせの対応や感染対策、医療安全などのチーム医療活動も活発に行っています。

さらに当院の特色として巡回診療を行っており、様々な理由により通院が困難な患者さんに必要な薬をお渡しするための調剤業務に関わっています。

私自身は感染対策委員会のメンバーとして週に1回のラウンド活動で、抗菌薬の適正使用の検討、各部署の衛生管理のチェックなどを行っており、院内感染対策に力を入れています。

当院は規模が小さく、スタッフも少人数ですが、少しでも患者さんに満足いただけるようにスタッフ一同頑張っております。よろしくお願いいたします。



沼田病院の緩和ケアチーム の活動について

緩和ケア認定看護師 梅澤 美里



看護師になり、これまで病気や症状の辛さ・不安や気持ちの辛さを訴える、多くの患者さんに出会ってきました。そのような中で、思いや気持ちを受け止めるだけではなく、それを解決できるような働きかけができなければいけないと感じるようになりました。そのために、今まで以上の根拠のある知識の習得が必要と考えるようになり、緩和ケア認定看護師教育課程を受講しました。「辛い身体症状を緩和・軽減することで、患者さんの不安や気持ちの辛さに、さらに寄り添うことができること」「患者さんと共にご家族も悩み、苦しんでおり、ご家族も支えることが看護師の役割であること」など多くの学びがありました。

現在は、医師からの病状や治療の説明等の面談時に同席させていただいたり、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカーでチームを組み、多職種で患者さんにご家族を支えられるよう関わらせていただいています。患者さんにご家族がその人らしく過ごせるようお手伝いさせていただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



沼田病院緩和ケアチームのメンバー

中学生の職場体験について

庶務係長 平山 裕士



平成29年9月26から28日までの3日間、沼田中学校の生徒3名が当院に職場体験に来ました。

初日は、病院全体を見学し、午後は感染管理の仕事内容、手指衛生などを実施しました。病棟での体験では、患者さんとお話ししたり看護師の補助業務を行ったりと真剣な表情で取り組んでいました。

当初は緊張した面持ちの3名でしたが、2日目、3日目となるにつれて笑顔がだんだんと増えてきました。

最終日は、病棟以外の部門を回り、薬剤や放射線・検査・リハビリと各部門長より使用する道具や機器の説明を受けながらじっくりと見学しました。

また、最後には岩波総合診療部長より医師の仕事紹介や受験勉強の方法を質問形式で行いました。

今後も当院では見学や職場体験学習は受入を続けていきますので、ご希望がございましたらご連絡ください。



沼田病院 職場体験学習 H29.9.26~28

リレー・フォー・ライフジャパン2017 ぐんまに参加して

薬剤科 間杉 拓紀

私は平成29年10月7日から8日にかけて群馬総合スポーツセンターで行われたがん征圧を目的としたイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま」に参加しました。

会場では病院や企業主催の色々な企画が行われていました。その中でもがん細胞が24時間増殖し続けるということから、24

時間コースを歩き続けがんに負けないという意味を示すリレーウォークが特に印象的でした。スタートを務めたがんと闘っている方、がんを再発された方、がんを克服された方をはじめ、異なる立場の方々が手を取り合い、場内を周回される姿は、がんに立ち向かう強い団結力を感じました。私は沼田市のキャラクター「まっくん」に扮しコースを周回されている多くの子どもたちとも触れ合うことができました。その子どもたちがいずれは医療を支え、がんに罹患された多くの人を救っていくという



沼田病院の行進



沼田市のキャラクター「まっくん」

次世代への医療のリレーというものも感じることができました。

このようなイベントを行うことにより改めてがんという病気を見つめ直す良いきっかけができるため、これからもリレー・フォー・ライフが長く続いていくことを願っています。

消防避難訓練を実施して

庶務班長 澁澤 宏俊

平成 29 年 11 月 13 日に利根沼田広域消防本部中央消防署のご協力を得て消防避難訓練を実施いたしました。

3階病棟の器材庫から出火想定をし、消防隊に救助を求め、患者、逃げ遅れの職員を避難させる設定と致しました。

予定どおり進行せず、多くの反省点もありましたが、救助袋で下の階に降りる訓練など今まで使用しなかった避難器具の利用、実際の救急車を利用しての転院搬送訓練など今までにはない臨場感ある有意義な訓練となりました。

ご協力をいただいた中央消防署の皆様方には改めて、感謝致しますとともに、今回の教訓を次回の訓練

に活かせればと考えております。また、火災が起こってしまった場合の消防避難訓練も大切ですが、普段からの防火体制の心がけが何よりも大切です。ご協力をお願い致します。



自衛消防隊による消火栓を利用した消火訓練



模擬患者の搬送訓練



消火器の操作訓練

クリスマスコンサート

医事係長 池谷 広毅

あわてんぼうのサンタクロースの鈴の音が聞こえてきそうな平成 29 年 12 月 19 日、毎年恒例のボランティア委員会主催によるクリスマスコンサートが行われました。師走の忙しい最中、今年も「沼田マンドリン・ギタークラブ」の皆様を迎え実施致しました。

今年は新たにフルートも加わり、マンドリン、ギターと共に美しい音色に耳を傾け心地よい時間を過ごすことが出来ました。

また、クリスマスツリーの着ぐるみを着た当院職員が飛び入り参加し、楽曲に合わせて即興でダンスを行ったり、マジックショーを楽しんだり、例年よりも見どころのあるコンサートだったように思われます。ボランティア委員会では今後も患者さんやご家族、地域の皆様を楽しめたり、ほっと出来るような催し物を行っていきたいと思います。



演奏風景



利根沼田地域新型インフルエンザ等医療訓練

感染予防対策室 副看護師長 感染管理認定看護師

七五三木 聡一

当院は、沼田利根管内における第2種感染症指定医療機関として、毎年新型インフルエンザ等医療提供訓練を利根沼田保健福祉事務所、沼田利根医師会、利根沼田広域消防本部と実施しており、今年は12月11日に実施した。

訓練は、患者発生時から入院前の流れ及び関係機関の対応を検証し、発生時から迅速に的確な対応ができるよう体制整備を確認するものである。

新型インフルエンザは、季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザであり、一般に免疫を獲得していないことから、世界的かつ全国的に急速な蔓延を引き起こし、生命及び健康に重大な影響をもたらすことが懸念されている。

新型インフルエンザの感染経路（咳、鼻水、飛沫核など）は明らかでないことが多いため、特殊な個人防護具（ゴーグル、N95マスクなど）を用いて、陰圧室（廊下などに室内の空気が流れださない空間）にて診療、入院加療が必要となってくる。これらの対策が、適切に実施されない場合、2次的・3次的にと感染は拡大されていく可能性がある。

医療圏において唯一外来診療から入院治療まで陰圧室での対応が可能となる当院は、地域の健康被害や社会的影響を守る責務がある。地域における役割を職員一人一人が自覚し、感染防止対策の質向上に向け、これからも職員一丸となり、取り組んでいきたい。



防護着の着用訓練



患者搬送訓練

医療従事者研修会を開催して

医療社会事業専門員 小淵 匡

11月14日（火）に当院地域医療研修センターにおいて【精神科から見た緩和ケア～抑うつ・せん妄と“その先にあるもの”～】をテーマに医療従事者研修会を開催いたしました。

緩和ケアと言うと終末期を思い浮かべる方が多いと思われませんが、緩和ケアは時期に関わらず、がんに伴う体と心の痛みやつらさを和らげることです。また、緩和ケアは、患者本人や家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目



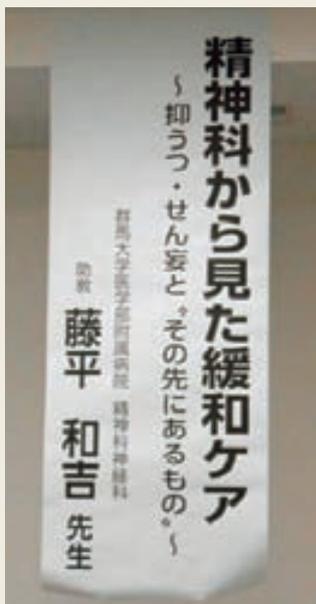
指します。体のつらさだけでなく、心のつらさあるいは療養生活の問題に対しても、社会制度の活用も含めて幅広い支援を行います。

そこで今回は心のつらさから現れる「抑うつ・せん妄」に焦点をあて、群馬大学医学部附属病院 精神科神経科 助教 藤平和吉先生に講師を依頼させていただきました。藤平和吉先生は群馬大学医学部附属病院で緩和ケアチームに所属しており、群馬県の各がん診療連携拠点病院で行われている緩和ケア研修会において精神系ファシリテーターとして参加されている先生です。

本研修参加者は100名の出席で大盛況となりました。大盛況となった背景には利根沼田地域の病院では精神科の常勤医師がいない現状があり、多くの医療従事者の関心あったものと考えられます。参加者からは、「ケアアプローチについて聞くこと自体がケアに繋がるということに理解することができました」

「大変貴重なお話で勉強になりました。また先生の講演を聴きたいです。」など意見がありました。

最後となりますが、今後も地域に必要とされる研修会を開催できればと思います。ご協力いただきました先生を始め、後援など各関係機関の皆様大変ありがとうございました。



医療安全推進活動について

医療安全管理室係長 田村 由佳

医療安全管理室では、患者の皆様とご家族はもちろん、面会の方々と職員を含めた院内全ての方の安全を守るために、安全な医療を提供できるよう、日々活動しています。

医療安全管理室と聞くと医療事故の対応をしている部署と思われる方もいらっしゃると思いますが、医療事故を未然に防ぐための活動も行っています。

今年度は、安全な医療の基本である確認行為の徹底を推進する活動に取り組んでいます。その一環として、安全意識を高めるために院内各部署より医療安全標語を募集し、平成29年度医療安全標語入賞作品が決定しました。受付前・売店前・新棟エレベーター前にポスターを掲示しますので是非ご覧ください。

平成29年度医療安全標語



院長賞

院長賞をいただきありがとうございます。私たちが業務を行う中で『確認行為』は、責任を持って実施する上で必要な行為です。私たちの安全・安心を保証するだけでなく、患者さんの安全確保にも繋がるため、今後とも標語に恥じぬよう行動していきたいと思います。(4階病棟)



医療安全管理室長賞

この度はとても光栄な賞をいただき本当にありがとうございました。

これからも一つ一つの行動を確認しながら、業務を行いたいと思っております。(企画課1階)



リスク部会賞

すばらしい賞をいただきありがとうございます。

ポスターを時々見ながら標語の通り気をつけて今後も業務に取り組みたいです。(地域連携室)

薬剤科だより

薬剤科 小川 真代

病院からもらうヒルドイド®を美容目的に使用しないで

本格的な冬がやって参りました。この季節、多くの女性にとって大敵となるのが乾燥です。保湿剤への関心が増す中、美容に関心の高い女性の間で、乾燥肌（皮脂欠乏症）などの訴えにより医療機関でヒルドイド®（各種タイプ、後発品を含む）を化粧品代わりに処方してもらうことが流行しているのでは、というニュースが流れています。

ヒルドイド®を美容目的で使おうと考える理由の一つは、健康保険によって自己負担が抑えられるからです（ヒルドイド®ソフト軟膏を例にとると、薬価は1本/25gで約600円ですが、健康保険が使えるため3割負担の支払いとなります）。

しかし、本来美容目的の薬は保険適応となりません。ヒルドイド®やその後発薬を美容目的で処方されている疑いがある医療費は、年間93億円にのぼると分析されています。

このまま美容を目的とした使用が増え続けると、医療費をますます増大させるとして、場合によっては保険の対象から外すべきとの指摘も出ています。

健康保険組合連合会は2017年10月、2018年度診療報酬改定に向けてヒルドイド®などの保湿剤の美容目的使用を問題視し、「皮膚乾燥症で、保湿剤の単独処方の場合には保険適用から除外する」との旨の提言を行いました。

本来必要としている患者さんに健康保険を使ったヒルドイド®の処方ができなくなるという事態は避けるべきです。美容思考も大切ですが、保湿剤のあり方を見直し適正な使用を心がけたいですね。

～ヒルドイド®を美容に使いたい方へ～

ヒルドイド®と同じ主成分（ヘパリン類似物質）を同じ割合で含む市販薬を紹介します。添加物など異なっているため使用感に違いがあると考えられますが、試してみたい方はいかがでしょうか。

HP®クリーム、HP®ローション（第2類医薬品）



※なお、ヒルドイド®に含まれるヘパリン類似物質には吸湿して角層に水分を付与し、持続的な保湿作用がありますが、色素沈着やシミに対して有効性を検討したデータや報告はありません。（マルホ株式会社ヒルドイド®FAQより）

栄養管理室だより

栄養管理室 今井 千恵子

食欲のしくみ

食欲は、脳の視床下部にある摂食中枢と満腹中枢によってコントロールされています。

◎生理的に起こる食欲のしくみ

◆血糖値が低下すると食欲がわく

血液中のブドウ糖濃度を「血糖値」といいます。血糖値は食後上昇しますが、だんだん低下し、やがて空腹時血糖値（血糖値70～110mg/dl）になります。この血糖濃度に、脳の視床下部にある摂食中枢が反応すると空腹感が生まれ、食欲がわいてきます。

また、血糖値が空腹時血糖値の約2倍になると視床下部の満腹中枢が反応して満腹感が生まれ、食欲がなくなります。

◆胃壁が縮むと食欲がわく

胃に食べ物が入ると胃壁がのびます。すると、その変化に副交感神経が反応して満腹中枢を刺激し、満腹感を起こします。

一方、胃の内容物が腸へ送られると胃壁が縮みます。それには交感神経が反応して摂食中枢を刺激し、空腹感を起こすので食欲がわいてきます。

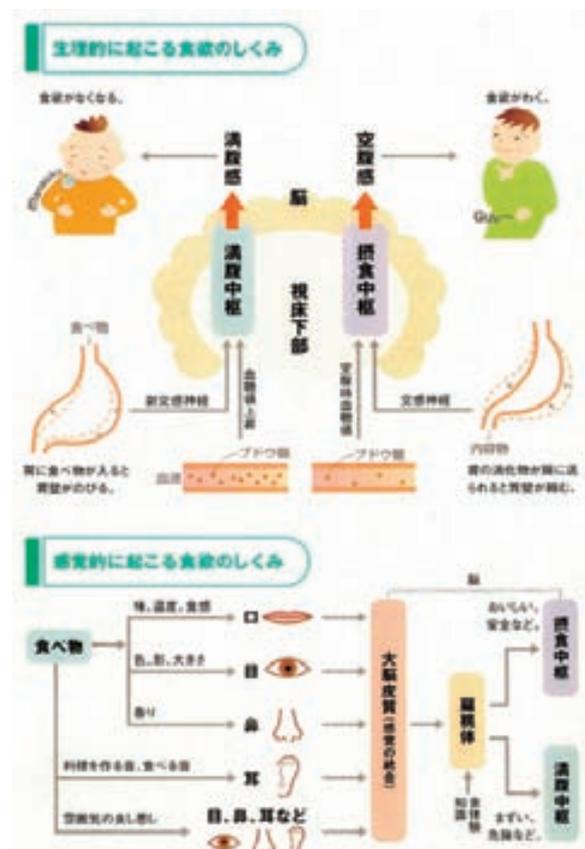
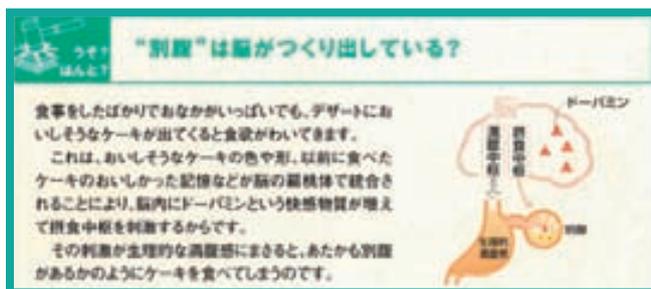
◎感覚的に起こる食欲のしくみ

◆おいしい情報は摂食中枢を刺激

食欲は、食べ物の味や見た目、香り、食感、料理を作る音、食事をする雰囲気によっても影響を受けます。

食べ物やその周囲の情報は、口や目、鼻、耳などから神経を介して大脳皮質のそれぞれの感覚野に送られ、味、色、香りなどの情報が統合されます。

その結果と食体験の記憶・知識などが脳の扁桃体という部分で統合され、おいしい・まずいなど判断がなされます。こうした情報は視床下部に送られ、おいしいという判断は摂食中枢に伝わるので食欲がわき、まずいという判断は満腹中枢に伝わるので食欲が起こりません。



参考文献：「栄養の基本がわかる図解辞典」成美堂出版

ナースマンに聞いてみた

第2回



かつては女性の職場と言われた看護師も現在では男性看護師が多く働いており沼田病院でも全体の2割近くが男性看護師です。

そんな輝ける当院のイケメンナースマン(?)に「いままでのこと」「これからのこと」「職場環境について」「後輩に対して」等お聞きしました。



3階病棟看護師 内田 廣臣

現在3階病棟で看護師をしています。看護師を目指したきっかけは、小児喘息で入院していた時、お世話になった看護師さんに憧れて、自分もその看護師さんのように人と寄り添える仕事に付きたいと思ったからです。それを踏まえ、自分が日々心掛けていることは「患者、家族に寄り添う看護」「長幼の序を忘れず患者に接する」です。この2つをスローガンに日々の仕事に取り組んでいます。この職場に入職して4年目ですが、先輩看護師への相談もしやすく、男性看護師の人数も年々増え働きやすいため、やりがいをもって仕事に取り組んでいます。また、ストレスをかかえ仕事に臨むと良い看護は提供できないため、休日は県内や隣県の温泉や観光地に出かけリフレッシュを図っています。

自分が所属する3階病棟は、地域包括ケア病棟です。この病棟は、病状が安定した患者さんに対して、自宅や介護施設への復帰を支援していく病棟です。病棟スタッフが多職種と連携し、患者さんや家族が安心して入院生活、退院後の生活を過ごせるようにサポートしていきます。今後は、この病棟で自分が看護にやりがいを見つけられたように、後輩たちにも看護のやりがいを見つけてもらえるように支援できたらと思います。

新任職員紹介



臨床検査科 検査技師 鷹取 有紀

12月1日付で沼田病院に採用になりました、鷹取有紀です。11月までは高崎総合医療センターで非常勤として勤務していました。初めて生理検査配属になり、経験したことのない業務内容に戸惑うことも多いですが、早く1人前になれるよう努力していきます。よろしくお願いします。



4階病棟 非常勤看護師 平山 朋子

はじめまして。平成29年10月1日付で非常勤で採用になりました看護師の平山朋子です。はじめての場所で戸惑うこともありますが、早く病院に慣れて、患者さんに寄り添った看護ができるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

沼田病院の外来受診のご案内

1. 外来診察の受付時間は8:00～11:30です。

午後は小児科のみ14:30～16:30に受付を行っております。また、検査・手術・特殊外来等の予約患者さんに対応しております。

2. 土・日・休日・夜間の受診について

土・日・夜間は、緊急性のある患者さんに対応しています。

特に、夜間は患者さんの状態に応じ、重症な方を優先して診察をしていますのでご了承ください。

体調不良を感じましたら、早めに受診されることをお勧めします。

インフルエンザ対策のための面会制限について

当院では、入院患者さんを感染から守るため面会制限を実施しています。

ご家族以外の面会は原則禁止とさせていただきます。

なお、ご家族の場合でも発熱している方、中学生以下のお子様はお断りします。ご協力をお願い致します。

病院ボランティア募集

あなたのやさしさを、あたたかいふれあいを、あなたの助けをお待ちしております。

****活動内容****

○外来での総合案内

診療科・検査科・放射線科への案内、車椅子介助、診療申込書等の代筆、受付機の取り扱いなど

○植木・花壇の手入れ

○入院患者さまの話相手、朗読

○芸能、音楽など

****問い合わせ先****

看護部長室 まで

看護師募集

思いやりのある看護を志す方を求めています。

1. 看護単位：

病棟(3) 手術・中央材料室 外来

2. 看護方式：

固定チームナーシングと受持看護を併用

3. 勤務体制：

4週8休 3交替制

4. 卒後教育：

キャリアラダーに沿った充実した経年別教育

詳しい内容についての問い合わせは

看護部長室 まで

NHO PRESS～国立病院機構通信～について

沼田病院は、国立病院機構(NHO: National Hospital Organization)という142の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構(NHO)という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS～国立病院機構通信～』を発行しています。外来待合等に設置していますので、ぜひご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去のを掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。

NHO PRESS

検索



QRコード

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は韓国平昌で冬季オリンピックが開催されます。多くの種目で日本人選手の活躍が期待されます。寒さを吹き飛ばすような熱い戦いが繰り広げられることでしょう。

また、インフルエンザが流行する季節の到来です。うがい・手洗いなど感染予防を行い、体調を整えて過ごしていきましょう。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

事務部 S.K

外来診療担当医師一覧表

平成30年1月現在

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
総合内科1	午前	飯塚(光)	飯塚(圭)	新患外来10:00~	春日	根岸	
総合内科2	午前	迫	武井(第3週休診)	飯塚(光)	桑原	新患外来10:00~	
総合内科3	午前	野中	林	根岸	武井(第3週休診)	林	
小児科	午前	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	高橋・(湯原)	湯原	
	午後 14:30~16:30	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	予防接種のため休診	湯原・(高橋)	
総合外科1	午前	佐藤	前村	岩波	岩波/佐藤/小林	六本木	
総合外科2	午前	小林			上記3名の内2名が診察を行います。詳しくはお尋ねください。		
整形外科1	午前 ~11:00	—	濱野	—	面高	割田 (第2・4週)	
整形外科2	午前	森本	森本	森本	森本	—	
泌尿器科	午前	—	—	—	—	伊藤(完全予約制) (第2・4週)	
婦人科	午前 ~10:45	—	—	—	松井(第1・3週)	—	
眼科	午後 13:15~	米谷(予約制) (22日)	—	—	—	—	
放射線治療科	午前	吉本	—	—	—	—	
	午後	—	—	—	—	神沼	
画像診断科	午前	—	—	—	若林	—	島田
	午後	—	熊坂	—	—	—	

専門外来診療一覧表

※は、基本的に予約又は紹介

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
内科(肝臓・消化器)			群大Dr 13:30~15:30				
乳腺・内分泌外来				14:00~16:00			
糖尿病外来			蔵田(第1・3・5週) 9:00~11:30 常川(第2・4週) 9:00~11:30				
フットケア外来		13:00~15:00					
喘息・アレルギー呼吸器外来			久田(第3週) (完全予約制) 14:00~16:00		齋藤 10:00~11:30		
循環器内科外来		林(完全予約制) 13:00~16:00		林(完全予約制) 13:00~16:00		飯塚(完全予約制) 14:00~16:00	
心臓血管外科外来				(群大Dr) 第3週 14:00~16:00			
肝臓外来						飯塚(主)(完全予約制) 14:00~16:00	
看護外来					外来看護師 10:00~11:00		
がん看護外来		10:00~15:00	10:00~15:00	10:00~15:00		10:00~15:00	
セカンドオピニオン外来		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
緩和ケア外来		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
リハビリテーション		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
ストーマ外来		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
糖尿病教室(無料)		14:00~15:00	11:00~12:00	11:00~12:00	15:00~16:00	11:00~12:00	
内分泌外来		根岸 14:00~16:00					

■□ 上記のほか臨時に休診・代診となることがありますので1F外来ホールの掲示版をご確認ください ■□

※健康診断をご希望の方は、10:30までにご来院ください。

診療時間	午前8:30~午後5:15
診療受付時間	午前8:30~午前11:30 (予約の再診及び専門外来を除く)
診療日	月曜日~金曜日(祝日、12月29日~1月3日は除く)
面会時間	全日午後1:00~午後8:00 ご面会の方はスタッフステーションで病室をご確認の上ご面会ください。

交通案内図

- JR上越線をご利用の場合
 - 沼田駅 関越交通バス 国立病院前 徒歩2分
 - 沼田駅 関越交通バス 終点 徒歩3分
- 自動車をご利用の場合(関越自動車道)
 - 沼田I.C 車で5分



当院が所在する地域の尾瀬の「水芭蕉」を圖案化したもので、中央に沼田病院を英字で表示した。(テーマ:地域に根づく医療)